

夢だより 第41号



佐世保市立吉井中学校

校長 柳原 秀一 H29.6.23 (金)

夏休みまで1ヶ月！ その前に・・・

早いもので、もう“夏休み“の足音が聞こえてきています。正確に言うと、7月21日から夏休みになるので、登校する日は18日。あらためてその早さに驚いています。日にちがどんどん進むということは生徒の皆さんがどんどん成長しているということになります。「1日過ぎれば、1日分の成長がある」ということです。1日分の成長は微々たるものかもしれませんが、365日分の成長はとても大きいと思います。

そこで、生徒の皆さんに聞きたい！「あなたは、成長しようと日々努力していますか？」1日1日の努力は言うまでもなく、1時間1時間の授業や部活動の練習、行事等への取組に対して、努力する姿勢はありますか。朝8時登校から夕方6時下校までの約10時間、どのような姿勢、どのような気持ちで生活していますか？前向きに頑張ろうとしていますか？投げやりになって“どうせ、何やっても・・・”と思っていないですか？ポジティブに考えることができますか？

日々、自分に語りかけ、自分のあり方を見つめ直しましょう。「今日頑張れたことは何かな？」「今日できるようになったことは何かな？」「今日の授業内容でわかったこと、できるようになったことは何かな？」1日100点の成長を目指す必要はありません。1日10点の成長でもいいのです。10点も10回積み重ねれば、100点になります。ペースは人それぞれでいいのです。1日少しでも「前」に進めれば、それでいいのです。

公立高校定員の発表がありました・・・少子化の影響で定員減少

昨日、平成30年度の公立高校の定員が発表されました。近隣では、佐世保商業と佐世保中央（夜間部）で学科再編と1学級40人減となりました。このような情報は、該当学年である中学3年生だけではなく、1、2年生にとっても同じくらい大切なことなので、関心を持って情報を収集したり、自分の進路を考えてほしいです。

そのためには、3年生になってからではなく、1年生のときから将来の自分のキャリアを意識した学校生活が大切になってきます。簡単に言えば「どんな職業に就きたいか。」です。今話題の中学生プロ棋士藤井四段は幼少期から棋士になることを夢み、公言してきたそうです。強い意志と信念を持っていたのですね。どのような人に憧れを抱くか、どのような職種に就きたいと思うか、これは個人個人の体験から出てくるもので、机上の勉強の中から出てくるものではありません。身近にどのような大人がいたか、どのような体験や経験を積み重ねてきたか、が大切です。“1年生のときから“ではなく”幼少期から“の体験や経験が重要な意味をもちます。その体験や経験があつてこそ、自分の職業や人生について考えることができるのです。

学校の方でも多くの体験や経験を仕組みたいと思いますが、各御家庭でも日常的なところからでも、体験や経験を積ませていただけたらと思います。まずは、家事手伝いからいかがでしょうか・・・？

7月の予定表

2日	日	PTA北部ブロック親善球技大会	12日	水	性教育講演会(2年生)
3日	月	地区懇談会① (吉田乃館・吉元公民館)	14日	金	研修会のため給食後、下校
4日	火	地区懇談会② (上橋川内公民館・吉井南小学校)	15日	土	少年の主張大会(コミセン) 柴田乃愛さん出場
5日	水	生徒総会	16日	日	社会を明るくする運動弁論大会 橋間玲奈さん出場(アルカス)
10日	月	地区懇談会③(西立石公民館・黒岩団地 集会所)第2回テスト(~12日)	18日	火	授業参観・懇談会
11日	火	地区懇談会④(上直谷・下直谷公民館)	19日	水	研究指定校内発表会